

CITY & LIFE

都市のしくみとくらし

1985・冬号

Vol. **5**



特集

都市と盛り場

ヒトが集まり、働き、住まう都市には、必ず
 息ぬきの場所がある。身分は離れ、他者の第三の
 空間だ。家族から離れ、他人の第三の
 を意識せず自由な活動が盛んな場所と
 の空間をとりあえず確保する。都市の
 てもいさよも盛んな場所か
 とどまりたい。都市の核としての盛
 ひとつの核となる。都市の核としての盛
 はずまの重なる。都市の核としての盛
 すまの重なる。都市の核としての盛
 なすまの重なる。都市の核としての盛
 値観の動、盛
 点を通し、盛



■ Contents ■

特集◎都市と盛り場

- 都市の核としての盛り場／鈴木博之 2
 - 〈座談会〉文化的な活力を生み出す盛り場の
源流を求めて／日笠端 陣内秀信・高見澤たか子 5
 - 世界の盛り場アラカルト 10
 - 東京の盛り場パターン 12
—パイロット・モデル渋谷／大田雅和
 - ロンドンと盛り場／山岸 健 14
 - 若者の盛り場イメージ／池田利道 17
 - 都市計画手法でつくられた東京の副々都心 20
吉祥寺の盛り場
 - まちづくり思い出ばなし④／高山英華 24
- INFORMATION/編集後記